

生ける水

発行者
日本福音教会連合
岡山市北区丸の内
1丁目11番15号
理事長
倉賀野 攻
編集長
太田 正信

わたしを信じる者は、聖書に書いてあるとおり、その腹から生ける水が川となって流れ出るであろう。ヨハネ7:38

目次

- P.1 授けられた他国の言葉 …… 稲田 敏朗
- P.1 時の声
- P.2 教会巡り⑥ 日本弟子たち… 朴 永 信
- P.2~3 歌いつつ歩まん …… 三 浦 愛
- P.3 中国聖会報告 …… 小 森 早 苗
- P.3~4 春の聖会報告 …… 加 藤 信 治
- P.4 報告・案内 etc ……

授けられた他国の言葉

江尾キリスト教会

牧師 稲田 敏朗



のです。

ご聖霊様は、突然、激しい風が吹いてきたような音をもつて、天から御くだりになりました。「すると、一同は聖霊に満たされ、御霊が語らせるままに、いろいろの他国の言葉で語り出した。」と聖書は記しています。

使徒行伝の第二章は、「五旬節の日がきて、…」という御言葉が始まります。五旬節の日とは、イエス様が十字架の死から甦られたイースターの朝から五十日目の日曜日のことです。私たちはこの日のことを、別の言葉で、ペンテコステとか、聖霊降臨日と言いますが、この日が更に重要なのは、歴史上最初のキリスト教会がこの日に誕生したからです。

イエス様は十字架にお架りになる前に、「私（イエス）が天に昇った後、もう一人の助け主、ご聖霊なる神様を、この世界にお遣わしてください。」とお祈りなさいました。父なる神様は、この願いに答えられ、心を合わせてひたすら祈る弟子たちと婦人たちの中に、別の助け主、ご聖霊なる神様をお遣わしくくださった

散るのを免れよう。」と、神

様はその人々の高ぶりをお怒りになり、「そこで彼らの言葉を乱し、互に言葉が通じないように」なさったのです。この時から人類は一つの共通の言葉を失ったのです。

使徒行伝を著したルカは、この時の様子を実際には目にしていなかったと思います。然し、ルカは、自分が一生懸命調査し、記録した資料に基づいて聖書のすべてがそうであるように、神の靈感を受けて書き記したのです。この時ご聖霊様は、弟子たちに、「他国の言葉」をお与えになったのです。

創世記十一章には、有名な「バベルの塔」の物語が記されていますが、その当時、すべての人は同じ発音、同じ言葉で生活していました。然し、バベルの町に住む人々は、神様の御前に高ぶって、こう言うのです。「…さあ、町と塔とを建てて、その頂を天に届かせよう。そしてわれわれは名を上げて、全地のおもてに

がたは力を受けて、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、さらに地のはてまで、わたしの証人となるであろう。」(使徒行伝一章八節)と語り終えて、再び天にお帰りになりました。イエス様の御約束がこの「五旬節の日」に成就したのです。

幾世代かの、長い、長い年月が過ぎました。世界はイエス様の時代に移りました。そしてこのペンテコステの日に、ご聖霊様は天よりくだり、弟子たちに「他国の言葉」をお与えになったのです。「他国の言葉」とは、イエス様の福音を伝える当時の外国語のことです。ご聖霊様は、弟子たちに、世界中すべての人々の理解できる「他国の言葉」を授けて、イエス様の大宣教命令を成就させようとなされたのです。人がこのキリスト教の福音に出会う時、人は、初めて人を人として理解し、受け入れることができ、「喜ぶ者と共に喜び、泣く者と共に泣く」(ローマ書十二章一五節)ことができるのです。

ご復活なさったイエス様は、弟子たちに「ただ、聖霊があるあなたがたにくだる時、あなたがたは力を受けて、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、さらに地のはてまで、わたしの証人となるであろう。」(使徒行伝一章八節)と語り終えて、再び天にお帰りになりました。イエス様の御約束がこの「五旬節の日」に成就したのです。

時の声

消費社会の特徴は、長期のローンや一、二か月先支払いのカード決済である。これらは現金が今なくても欲しいものが手に入るので当然、消費は拡大する。しかし、ローン及びカード地獄に落ち込み破産する人は少なくは無い。

以上は個人であるが、国家の赤字国債発行による累積赤字による国の借金額は尋常ではない。真摯に国民のためを思うなら定額給付金でなく、埋蔵金の出ない予算と決算、精算の仕方を制度化すべきである。

赤字、負債、借金は返さなければならぬものである。自己破産で逃れる様な事は個人は法的には死者に等しく、国は滅亡を招き無政府状態にならないとも限らない。

人として国としてその有り様は、天地万物の創造者なる神の御前での有り様である。始祖アダムの墜落以来の人類の罪の負債は積もりに積もって神の御子を十字架に付けるまでになり、現代は、審判の再臨直前まで時を刻んだ。父なる神に心から悔い改め救い主イエス様への信仰と御言への従順によって個人的に返せない罪の負債、借金は赦して免除してもらえない。

日本福音教会連合 教会巡り⑥ 私の証

日本弟子たちの教会

牧師 朴 永 侑

私は韓国の江源道というところで生まれました。小さい時の周囲の雰囲気は仏教の影響が大きかったと思います。毎年お寺に行ってお参りをしたりしました。その中でもたまたまクリスマスになったら教会に行つて美味いものももらいに行つた覚えがあります。その時まではイエス様についてよく分かりませんでした。

私がイエスに様について具体的に知つたのは大学の時でした。大学の先輩からCCCの四つの法則について聞いてから毎週聖書の勉強やキリスト教の信仰について学びました。神様が宇宙万物をおつくりになり全ての万物を統治しているというこを聞いてびっくりしたこともありましたが、もつとびつくりしたことは私たち人間はすべて罪人であり罪のままでは皆地獄に行くしかないということでした。その中で地獄に行くしかない私のために罪の贖いをしてくだ

さつた方がおり、だから誰でもイエス様を信じるならば永遠の命を得ることが出来ると言つて話を聞いて心からイエス様を受け入れ信仰生活を始めました。

大学の四年間はCCCの活動に熱心でした。とつても楽しんで



しかつたです。軍隊に行つてからは私の命を守つてくださる方はあのイエス様だと信じながら全てのことをまかせました。そして私のすべてのことを導いてくださるイエス様のために献身する気持ちになりました。一九九一年CCCの短期宣教師として志願して日本に来ました。一年間日本語の学校に通いましたが何も出来ない自分を見ました。そこで、わ

たしは Campus 伝道のために自ら学生になるということ。で明治大学政治経済学研究所で経済学専攻を志願して学生になりました。学生になってからは学生の身分で自由に伝道することができました。学校で勉強したり、毎週祈禱会を開きました。とつても遣り甲斐のある時間でした。沢山の日本人の人と会う機会を頂き日本の文化を学び豊かな交流の機会に恵まれたことはとても幸せな期間でした。

その後、私は主の前に立ちこれからの進路について求めました。そのとき神様の導きによつて日本での進学を決心し東京キリスト神学校にて3年間神学を学びました。日本人の伝道のためには日本で神学を学ぶことが必要だと思つたからであります。三年間の勉強を終え今まで奉仕してきてました東京多摩キリスト教会で伝道師として二年、副牧師

として二年を奉仕しました。その後二〇〇八年四月からは自分に与えられた日本宣教の使命を成し遂げるため埼玉県川口市で開拓を始めました。最初は私たちの家族と一人の留学生の学生と礼拝をしました。様々な障害がありました。が神様が導いて下さつて二〇〇八年度を終えることが出来ました。私たちの教会の名前は日本弟子たちの教会です。これからの目標はたくさんの方の日本人の伝道と弟子を造ることです。そのために小グループの弟子訓練を通して平信徒の弟子を作るために祈つています。

十一時には日本語の礼拝を、午後二時には韓国語の礼拝をささげています。

教会として成り立つためには教会堂を維持するための財政的な必要がありますが、信徒さんの献金だけでは賄えるには至つておりません。神様の導きと恵みによつて守つてくださると信じています。これからも日本宣教のために全身全霊を尽くしたいと思つていきます。

現在、小さい群れで、教会学校が七人、大人が自分の家族を含め十五人ぐらいが礼拝に参加しています。大人は、日本人が三人、韓国人が九人、中国人が三人に構成されています。

私たちの教会は日本人の伝道のために礼拝を二つに分けてささげています。



歌いつつ歩まん

人の子とは何者

聖泉キリスト教会
牧師 三浦 愛

- 一、わが主よ わが神よ
汝の聖き御名は地に
あまねくして尊きかな
力強きその栄光を
天に置き給えり
 - 二、わが主よ わが神よ
汝の高き天にある
指の業を見上げまつる
月も星も治め給いしを
われは思いひそめり
 - 三、わが主よ わが神よ
汝が御胸とせしことを
人の子とは 何者かと
尋ねたれどその顧みゆえ
讚美捧げまつらん
 - 四、わが主よ わが神よ
汝が御胸とせしことを
人の子とは 何者かと
尋ねたれどその顧みゆえ
讚美捧げまつらん
- 新聖歌二九番
- 小さい頃から教会で過ごし、日曜日には礼拝を守るのが当たり前。という生活の中で、神様という大きな光に照らされていながら、自分の意見を通そうとしてしまう弱い者です。そのような中で、ふと夜空を見上げた時、この讚美の詩篇八篇の言葉が示され、喜びが溢れてきたのです。
- 創世記一―三章の神様によ

中国聖会記

イエス様と共に

岡山中央キリスト教会

信徒 小森 早苗

第二十八回中国聖会は、五月三日・四日、岡山中央キリスト教会にて行われました。講師は、基督兄弟団総社教会牧師、高地博夫先生でした。穏やかな笑顔の先生で、とても親しみを感じましたが、メッセージは、くさびのように私の心にさざりました。以下に要旨と、感想を記します。



「クリスチャンの安息」
(ヘブル人への手紙四章一節～十節)

神様からの恵みを受けかねて、怠慢になっていく。不平不満の渦に巻きこまれる中で、自分の技で安息を得ようとしてあせり失望落胆している。神様に信頼し、主によつ

て奉仕させていただき、その中で得たものが安息である。魂の安息であり、オ二の安息である。

心のすきまから、安息がこぼれてしまっているのではないかと反省させられた。

「クリスチャンの完全」

(創世記十七章一節～五節) 神様は私に「全き者であるように」と言われた。でもどうあがいても、神様の言われるようにはなれない。あせる私に神様はささやかれた、「私の前に歩みなさい」と。そうすれば、いろいろな問題の処理の仕方を教えて下さり、クリスチャンとして完全な者に近ずける。一人でジタバタも

がかないで。神様は、全能の神様なのである。

「クリスチャンの務め」

(マルコによる福音書二章一節～十二節)

中風のものイエス様のことろにつれてきたのは四人であった。この四人の信仰をイエス様が見て、罪をゆるし、中風をおいやしになった。この四人の勤めが大事である。四人の務めは、私達クリス

チャンの四つの奉仕を意味している。

「祈り」と「信仰」と「愛」と「忍耐」である。

その中でも、特に「絶えず祈りなさい」(オ一テサロニケ五章十七節)と神様は私に言われた。

祈ることによって、誘惑から勝つことができ、人を赦す心が与えられ、がんこな心が砕かれる。神様の御心になんて決してあきらめないで祈りつづけること。これがクリスチャンの務めである。イエス様の御声が、このようにぐるぐる渦を巻いてひびいてきた。

四日(月)の早天祈祷会は徳山キリスト教会の渡辺隆先生の御用で、マルコによる福音書一章三十五節から「クリスチャンの祝福II祈り」と題してメッセージされた。

イエス様は、前日の安息日の多忙な一日にもかかわらず次の日、朝早く起きて祈っておられた。人気が出て、高まらなくなる時、行い地獄がはじまる。パウロは、「人を自分よりすぐれた者と思いなさい」と教えた。しかし、自分で獲得したものが意識しないうちに自分の誇り高ぶりとなる。神について学んだり知っていることが誇り高ぶりにすらなる。しかし、神が求めて

と威張っているが、いつもイエス様がやって下さり、私はイエス様の後を追っかけているにすぎない。

関東聖会記

湘南 教会

牧師 加藤 信治

私と共にゆったり、ゆったり歩んで下さっているのだ。そんな事を深く思わされた聖会であった。

各地からの皆様方のご参加を心から感謝しつつ……。

連合関東地区春の聖会が四月二十九日に市ヶ谷ルーテルセンターで行われ、ホーリネス教団委員長、郷家一二三師を講師にお招きし行われました。テーマは「御霊の一致」で、ピリピ書より語られました。

午前、「一致の土台、主の愛・聖霊・謙遜」(ピリピ二章一～十一節)。教会の一致を妨げるものは、教会の中に入り込む自己中心と虚栄。信仰による救いの中にもほんの僅かでも行いも必要という教えが入ってくる時、行い地獄が始まる。パウロは、「人を自分よりすぐれた者と思いなさい」と教えた。しかし、自分で獲得したものが意識しないうちに自分の誇り高ぶりとなる。神について学んだり知っていることが誇り高ぶりにすらなる。しかし、神が求めて

る天地創造を意識しつつ、私達人間に与えられた使命と、その重要さが歌われています。神様から私達に託されている使命とは、神様の代行者として支配を任されている。預り物を管理するよう委ねられている、という事です。神様の計り知れない栄光は、夜の真つ暗闇に於いても天の月や星を見上げる時に知る事が出来ます。この詩篇の著者ダビデは、人生に於いて多くの苦しい死の影の谷を通りました。

しかし、ここでその苦しみを述べたのではなく、神様の栄光を褒め称えています。神様に背き、墮落した弱い人間を、何故、神様は見捨てず愛して下さるのでしょうか？その問いの答えは神様の似姿として、地上の代行者としての使命です。神様の息吹(神様と同じ知性・人格・意思・感性)が吹き込まれているのです。

「どこを見ても神様、あなたの御名、あなたの御手、あなたの恵みが見えます」と歌っています。弱くもろい自分という視点からしか周りを見れないのは悲しいことです。神様の御心という視点から全てを見ることが出来たら、ダビデのように賛美と感謝に溢れる事が出来るでしょう！ハレルヤ！

き上げて下さる。

主イエスが立たれたのは、教会の最も低い所、損な、批判される、ストレスの溜まるどころであった。牧師、役員、主の弟子の立つ所はそこである。主の謙遜、自分の十字架を負うて主に従いたい。

午後「一致の活力」主を知る喜びの礼拝(ピリピ三章一―十七節)御霊による一致の活力は喜びの礼拝にある。最初に主イエスにお出会いし救われた時、大きな喜びに満たされた。礼拝は神をさらに知り、主イエスにお出会いするその喜びの場である。パウロは、キリスト・イエスに出会い、キリストを知る知識の絶大な価値を知った時、かつて誇りであったものが損だとさえ思うようになった。さらに自分が努力してキリストを知り得たと思っていたが、実はキリストが私をキリストのうちに入れて下さっていたからだということに気が付いた。

今の私たちにとって自分がキリストのうちにあると見出されるのはキリストの体である教会においてであり、教会の礼拝の場である。自分の居場所はどこにある。そこに置いて自分の価値が分かり、尊さや生きる意味がわかる。あるカウンセリングの教えでは、人には周りへの適合的

欲求、それをやり遂げようとする強迫観念、いろんな事をする管理支配しようという欲求があり、その価値観や人からの評価に失望したり病んだりする。そうではなく、礼拝において、キリストのうちに自分を見出し、キリストに捕らえられている確かさに安息を得ることである。教会の中でも考えの違いはあるが、まずキリストに捕らえられている自分を見出すことが大事である。



求める者に聖霊を神は惜しまず与えて下さる。(ルカ十五章)主イエスのご生涯は、お生まれから十字架の死まで、聖霊により導かれ、その働きによるものである。人間の代表である主イエスに働かれた聖霊は私たちにも働いておられる。聖霊は、イエスを主と告白する私たちの日々の生活

の中でも働いておられる。さらに、聖霊の働きが著しいのは礼拝であり、聖霊は立てられた説教者を通して語りかけ、救い、支える。聖霊の共同体としてみんなが聖霊を持つている。神が聖霊を注ぎ、キリストのうちにある自分を見出させ、あなたは私は喜びに溢れて遣わされる。礼拝の度毎に聖霊が与えられ、一週間の歩み始める。この聖霊に促されて、一人一人が同じ聖霊を受けた者として、愛の行為に生きようとし、ある者は見舞いへ、ある者は礼拝から遠退いている者へと牧師の手が届かない所に届いてくれる働きが起る。

聖霊の最も深いところは罪の悔い改めである。礼拝で救いや罪の悔い改めの証がされると、礼拝の雰囲気が変わると、説教や説教前の賛美を聞いてやろうという受け身の姿勢であったのが、自分も救いや罪の悔い改めの時を思い起こし、神に向かっている、御言葉を求める礼拝の雰囲気へと変えられる。悔い改めが起り、そこが聖霊の働かれる現場となり、御霊の実である愛、喜び、の現実が礼拝の中で起こってくる。そのような礼拝をお捧げしたい。幸いなお交わりの時を持ち感謝でした。

報告・案内

◆富士見望キリスト教会(鶴沼芳道師・君子師)の住所は前橋市との合併により、群馬県前橋市富士見町小暮一四八九一四八に変更になりました。郵便番号は変わりなく三七一〇一〇三です。

◆聖泉キリスト教会(三浦清重師・正子師、愛師)では、四月十二日(日)イースター礼拝で、飯田貞之兄、阿部喜美子姉の洗礼式が行われました。おめでとうござい

◆岡山中央基督教会(倉賀野攻師・博子師)の山田英一兄(享年八十一歳)は、三

キリストを喜ぶ



月八日(日)愛する主の御元に召されました。御遺族の皆様の上に主のお慰めをお祈り致します。

◆四月十二日(日)イースターに、竹内政義兄、車田美智子姉、山田和子姉の洗礼式が行われました。おめでとうござい

◆郷千恵子師(高知福音教会牧師)は帯状疱疹で入院されましたが、今は自宅療養中です。お祈り下さい。

◆太田正信師(岡山勝栄基督教会牧師)は、四月二十七日(月)日本福音連盟常任理事会(於、淀橋教会)、聖歌委員会(於、浅草橋教会)に出席されました。

◆石井守師(熊毛キリスト教会牧師)は、肺炎の中、誤

嚙から高熱が出て五月十日(日)入院され、十五日(金)夜十時十九分に愛する主の御元に召されました。葬儀は十八日(月)午後二時から倉賀野攻理事長の司式で行われました。御遺族と熊毛キリスト教会の皆様の上に主のお慰めをお祈り致します。

◆日本福音連盟(斉藤亘理事長)第四十二回総会・広島大会が六月七日(日)午後六時三十分から九日(火)午後一時まで、広島アライアンス教会とKKRホテル広島で行われます。連合から、倉賀野攻理事長と太田正信師(連盟常務理事)が出席致します。総会・大会のために祈り下さい。

日本福音教会連合
第39回 夏季聖会

講師 小笠原 孝先生 & 連合諸牧師

日時 2009年8月4日(火)午後～
6日(木)午後1時

会場 サンロード吉備路
岡山県総社市三須825-1